

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	300T	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.550	△RG	0.025	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：300T

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

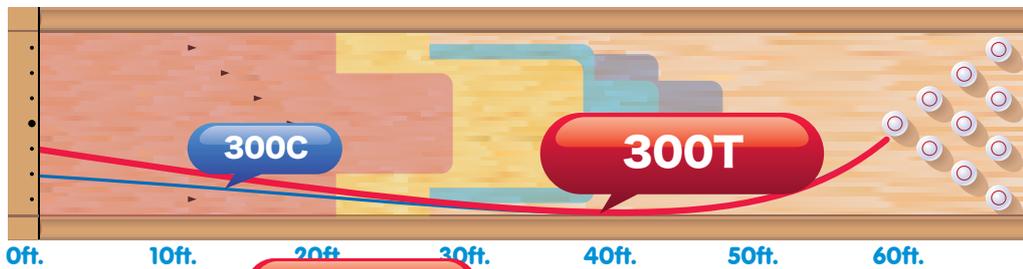
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：505C

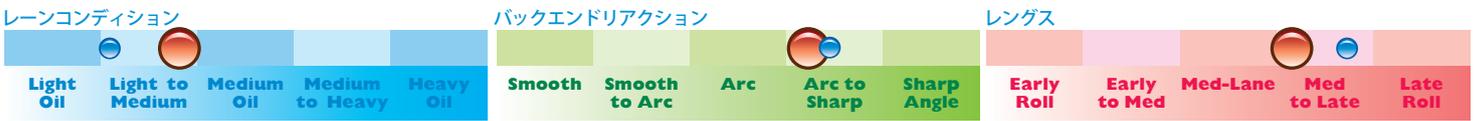
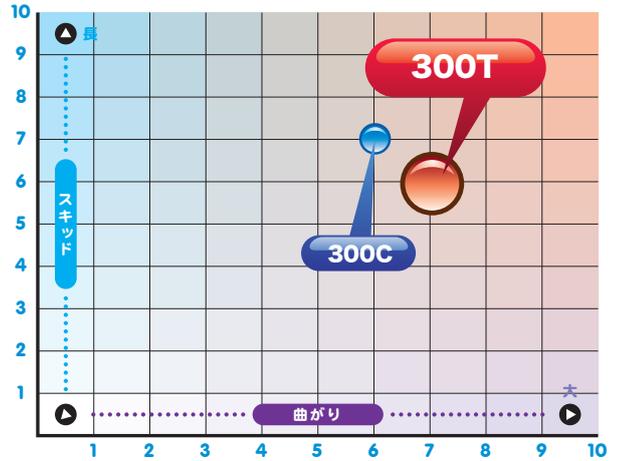
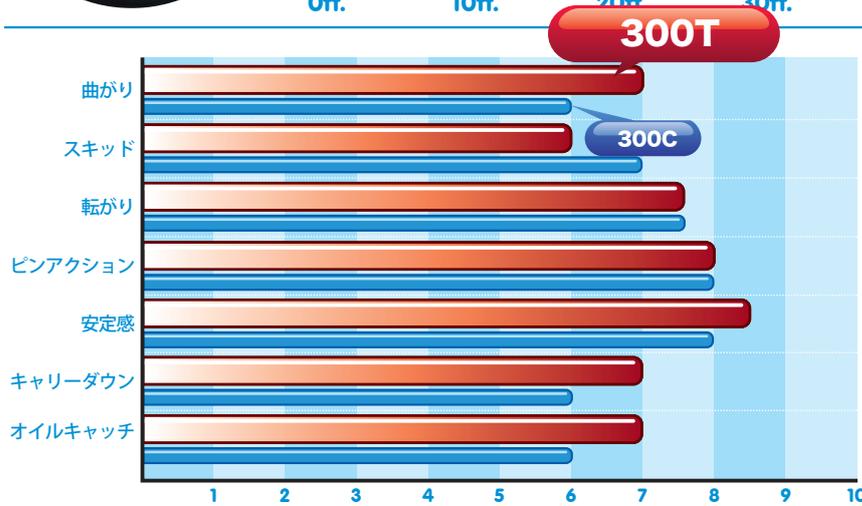
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 4 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

現在発表されているトラック社ナンバーシリーズ中、最も薄いコンディションに標準を合わせた”3”シリーズ。一見矛盾しているかのように思われる”3”というカバーストックの強さと”T”(Traction)性能との融合。300Tで新しく採用されたAll New LMP Gen 1 T Solidカバーストックは”3”シリーズの中でも最大値のキャッチ力性能とやや光沢のない表面加工との組み合わせ。”3”シリーズのなかに”T”という性能を導き出すために、手前からのトルクはカバーストックとその表面加工に委ね、ボールの曲がり始めはTrack Symmetric コアの△RGを低めに設定し、フレアポテンシャルを抑えることで、カバーストックとコアとのマッチングのポテンシャルで”300T”という領域を導き出しました。

投球したイメージは”T”というトラクションは感じますが、走りを邪魔するようなトラクション性能ではなく、「強過ぎず弱過ぎない」スキッドとキャッチを感じさせてくれる性能で、比較対象ボールの300Cと比べると向きの変わり方も強く、明確な曲がりを感じることができました。△RG設定の効果でしょう、フレア幅は細かく、ややレイトリアクション的に設定をされている分、曲がり方が明確に感じられるのだと思います。

300Tは”T”(Traction)性能であってもトラクションを前面に優先する”T”というよりは”3”のカバーストックのキャッチ力を補うための”T”と考えていただいても良いと思います。その効果は前作300Cよりキャリアダウンへの影響を軽減させ、”3”の領域リミッドギリギリの走りやキャッチを演出してくれます。

300Cを使い走り過ぎたり、キャリアダウンの影響を受けやすいとき、安定したキャッチを見込める300Tを使用すれば、きっと手放せない性能のボールであると確信していただけると思います。

特記事項

ナンバーシリーズ最新作の”3”のカバーの強さと”T”との組み合わせ。対応コンディションはミディアム以下で安定した曲がりやポケットヒットを可能にしてくれるボールです。